

学校教育についてのアンケート 集計結果報告書

1 調査の目的

児童生徒数の推移を踏まえ、長瀬町立小中学校において、将来にわたりより良い教育環境を維持するため、児童生徒にとってどのような教育環境が望ましいかについて、保護者等の意識を明らかにし、長瀬町学校のあり方検討委員会において、町内小中学校の今後の方向性をまとめるための基礎資料とすることを目的に調査する。

2 調査対象

町立小・中学校に通学している児童生徒の保護者、長瀬町立小学校に就学する予定の町内保育園、認定こども園に通園している園児の保護者

3 実施方法

各学校・園経由で配布し、回収も各学校・園経由で教育委員会へ提出。

4 調査期間

令和3年3月2日（火）～令和3年3月10日（水）

5 回収率

配布 364件（家庭数） 回収 324件 回収率89.01%

※家庭数とは

（例）小・中学校ともに、子どもがいる家庭の場合、中学生に1枚配布。

【内訳】

中学校 配布 131件 回収 116件 回収率88.55%

一小 配布 126件 回収 121件 回収率96.03%

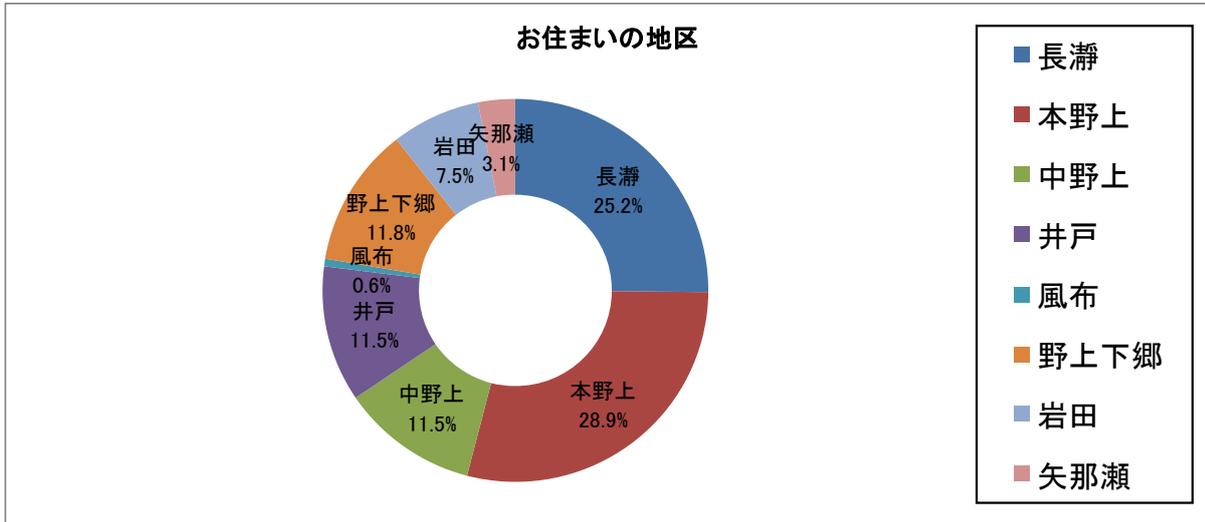
二小 配布 26件 回収 24件 回収率92.31%

保育園・認定こども園 配布 81件 回収 63件 回収率77.78%

【回答者概要】

問1. お住まいの地区

	人数	割合
長瀬	81	25.2%
本野上	93	28.9%
中野上	37	11.5%
井戸	37	11.5%
風布	2	0.6%
野上下郷	38	11.8%
岩田	24	7.5%
矢那瀬	10	3.1%
合計	322	100.0%

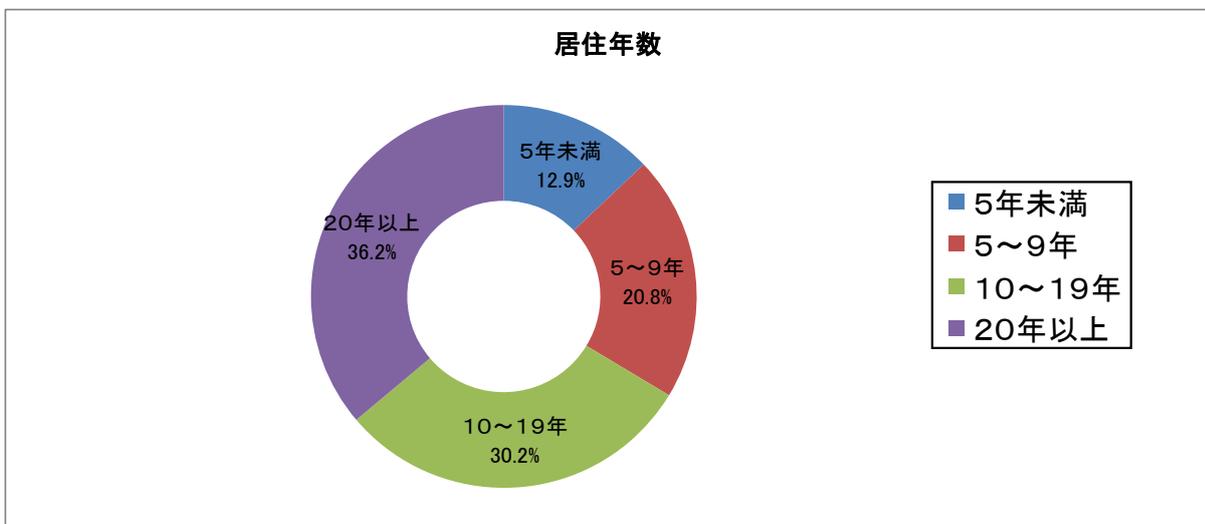


【お住まいの地区】

一小区域の長瀬、本野上、中野上、井戸、風布地区の割合が、全体の約78%を占めました。
 二小区域の野上下郷、岩田、矢那瀬地区の割合は、全体の約22%でした。

問2. 居住年数

	人数	割合
5年未満	41	12.9%
5～9年	66	20.8%
10～19年	96	30.2%
20年以上	115	36.2%
合計	318	100.0%

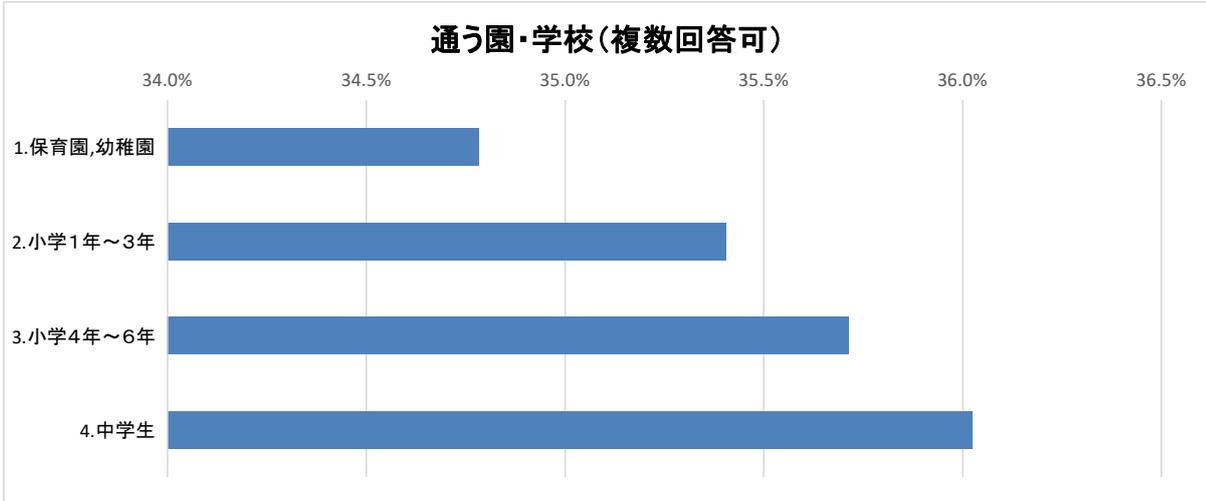


【居住年数】

10年以上の割合が全体の約66%で、10年未満の割合が全体の約34%でした。

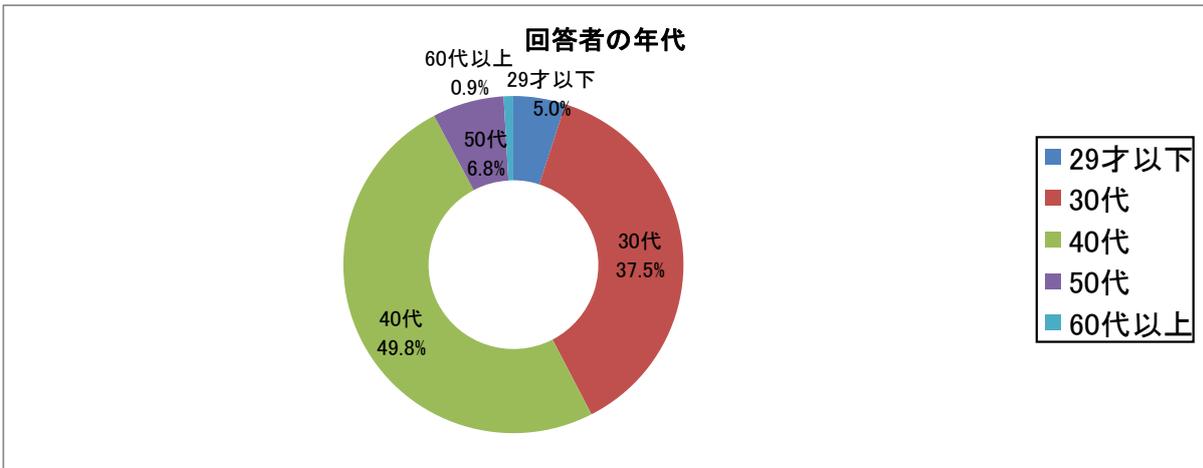
問3. 通う園・学校（複数回答）

	件数	割合
1. 保育園, 幼稚園	112	34.8%
2. 小学1年～3年	114	35.4%
3. 小学4年～6年	115	35.7%
4. 中学生	116	36.0%
合計	457	141.9%



問4. 回答者の年代

	人数	割合
29才以下	16	5.0%
30代	121	37.5%
40代	161	49.8%
50代	22	6.8%
60代以上	3	0.9%
合計	323	100.0%



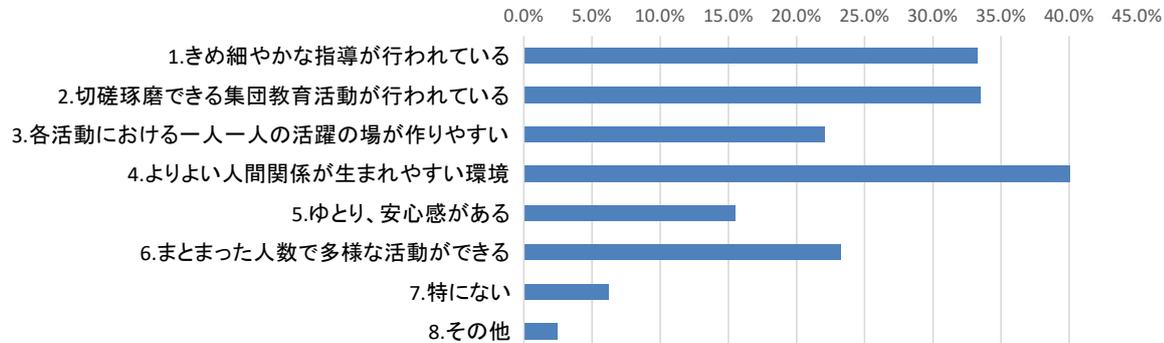
【回答者の年代】

30代、40代の年代で全体の87.3%を占めました。

問5-1. お子さんの通っている小学校で満足していることはどんなことですか。（複数回答可）

	回答数	割合
1. きめ細やかな指導が行われている	107	33.2%
2. 切磋琢磨できる集団教育活動が行われている	108	33.5%
3. 各活動における一人一人の活躍の場が作りやすい	71	22.0%
4. よりよい人間関係が生まれやすい環境	129	40.1%
5. ゆとり、安心感がある	50	15.5%
6. まとまった人数で多様な活動ができる	75	23.3%
7. 特にない	20	6.2%
8. その他	8	2.5%
合計	568	176.4%

小学校 満足していることまたは期待すること



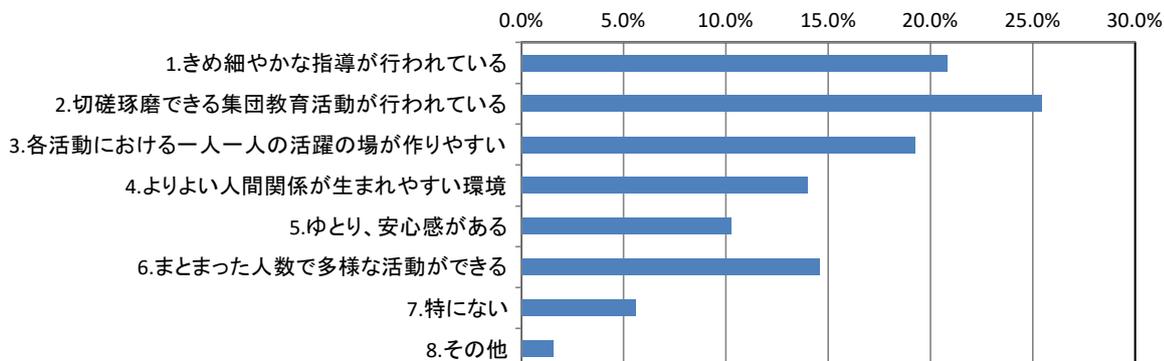
【小学校に満足していること、期待していること】

「より良い人間関係が生まれやすい環境である」の回答が一番多く、次いで「きめ細やかな指導が行われている」、「切磋琢磨できる集団活動が行われている」の順になり、回答者の3割以上がこの項目について満足していることがうかがえます。

問5-2. お子さんの通っている中学校で満足していることはどんなことですか。（複数回答可）

	回答数	割合
1. きめ細やかな指導が行われている	67	20.8%
2. 切磋琢磨できる集団教育活動が行われている	82	25.5%
3. 各活動における一人一人の活躍の場が作りやすい	62	19.3%
4. よりよい人間関係が生まれやすい環境	45	14.0%
5. ゆとり、安心感がある	33	10.2%
6. まとまった人数で多様な活動ができる	47	14.6%
7. 特にない	18	5.6%
8. その他	5	1.6%
合計	359	111.5%

中学校 満足していることまたは期待すること



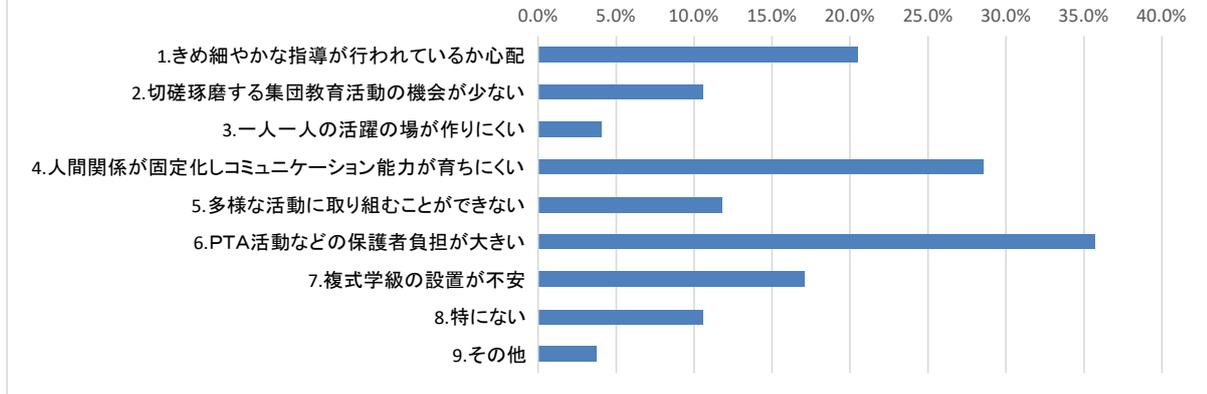
【中学校に満足していること、期待していること】

「切磋琢磨できる集団活動が行われている」の回答が一番多く、次いで「きめ細やかな指導が行われている」、「各活動における一人一人の活動の場が作りやすい」の順となりました。

問6-1. お子さんの通っている小学校で心配なことはどんなことですか。(複数回答可)

	回答数	割合
1. きめ細やかな指導が行われているか心配	66	20.5%
2. 切磋琢磨する集団教育活動の機会が少ない	34	10.6%
3. 一人一人の活躍の場が作りにくい	13	4.0%
4. 人間関係が固定化しコミュニケーション能力が育ちにくい	92	28.6%
5. 多様な活動に取り組むことができない	38	11.8%
6. P T A 活動などの保護者負担が大きい	115	35.7%
7. 複式学級の設置が不安	55	17.1%
8. 特にない	34	10.6%
9. その他	12	3.7%
合計	459	142.5%

通っている(または通う予定の)小学校で心配なこと



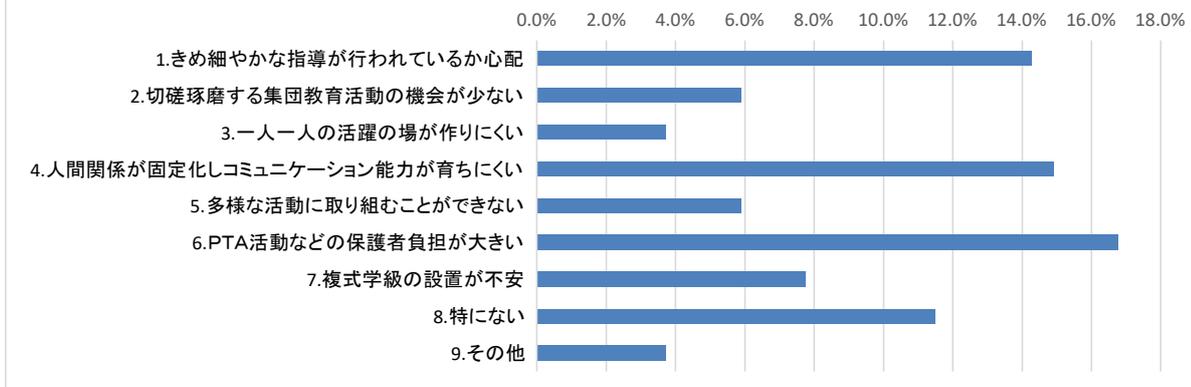
【お子さんが通っている(または通う予定の)小学校で心配していること】

「P T A 活動などの保護者負担が大きい」の回答が一番多く、次に「人間関係が固定化し、コミュニケーション能力が育ちにくい」、「きめ細やかな指導が行われているか心配」の順となり、回答者の3割以上がこの項目について心配していることがうかがえます。

問6-2. お子さんの通っている中学校で心配なことはどんなことですか。(複数回答可)

	回答数	割合
1. きめ細やかな指導が行われているか心配	46	14.3%
2. 切磋琢磨する集団教育活動の機会が少ない	19	5.9%
3. 一人一人の活躍の場が作りにくい	12	3.7%
4. 人間関係が固定化しコミュニケーション能力が育ちにくい	48	14.9%
5. 多様な活動に取り組むことができない	19	5.9%
6. P T A 活動などの保護者負担が大きい	54	16.8%
7. 複式学級の設置が不安	25	7.8%
8. 特にない	37	11.5%
9. その他	12	3.7%
合計	272	84.5%

通っている(または通う予定の)中学校で心配なこと



【お子さんが通っている(または通う予定の)中学校で心配していること】

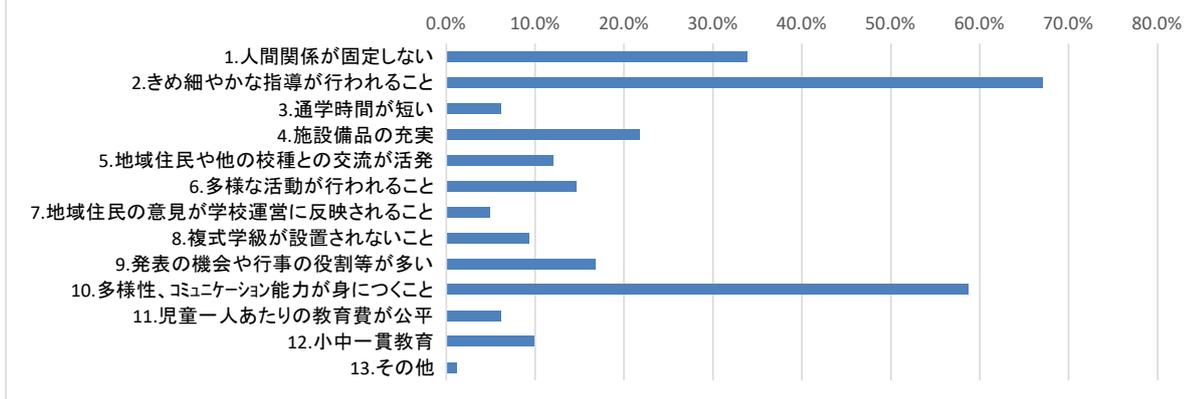
「P T A 活動などの保護者負担が大きい」の回答が一番多く、次に「人間関係が固定化し、コミュニケーション能力が育ちにくい」、「きめ細やかな指導が行われているか心配」の順となり、小学校と同様の順位となりました。

問7. 児童生徒にとってよりよい教育環境にするために重要だと思うこと（3つまで回答可）

全体

	回答数	割合
1.人間関係が固定しない	109	33.9%
2.きめ細やかな指導が行われること	216	67.1%
3.通学時間が短い	20	6.2%
4.施設備品の充実	70	21.7%
5.地域住民や他の校種との交流が活発	39	12.1%
6.多様な活動が行われること	47	14.6%
7.地域住民の意見が学校運営に反映されること	16	5.0%
8.複式学級が設置されないこと	30	9.3%
9.発表の機会や行事の役割等が多い	54	16.8%
10.多様性、コミュニケーション能力が身につくこと	189	58.7%
11.児童一人あたりの教育費が公平	20	6.2%
12.小中一貫教育	32	9.9%
13.その他	4	1.2%
合計	846	262.7%

よりよい教育環境にするための重要事項
(3つまで回答可)



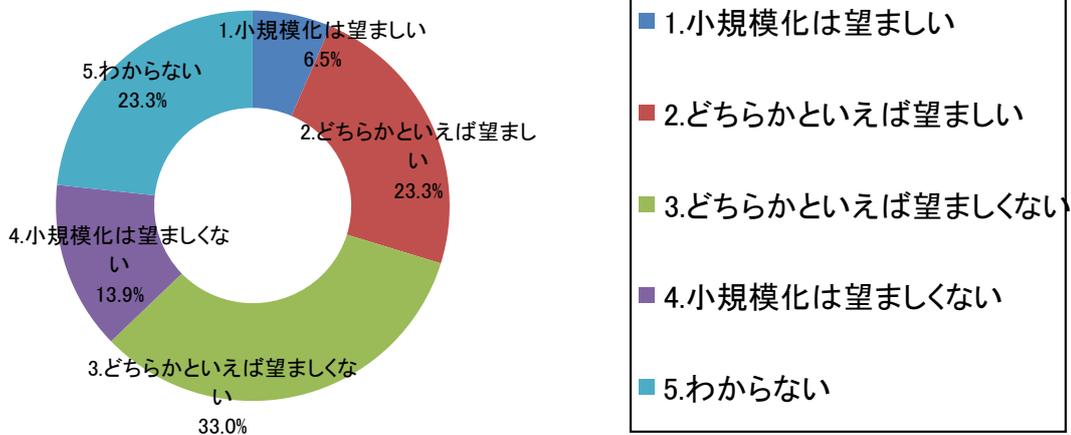
【児童生徒にとってよりよい教育環境にするために重要だと思うこと】

「きめ細やかな指導が行われているか心配」の回答が一番多く、次に「多様性・コミュニケーション能力が身につくこと」、「人間関係が固定化しなこと」の順となりました。

問8. 小規模化についてどのように思いますか。

	人数	割合
1.小規模化は望ましい	20	6.5%
2.どちらかといえば望ましい	72	23.3%
3.どちらかといえば望ましくない	102	33.0%
4.小規模化は望ましくない	43	13.9%
5.わからない	72	23.3%
合計	309	100.0%

小規模化についての考え



【学校の小規模化についてどのように思うかについて】

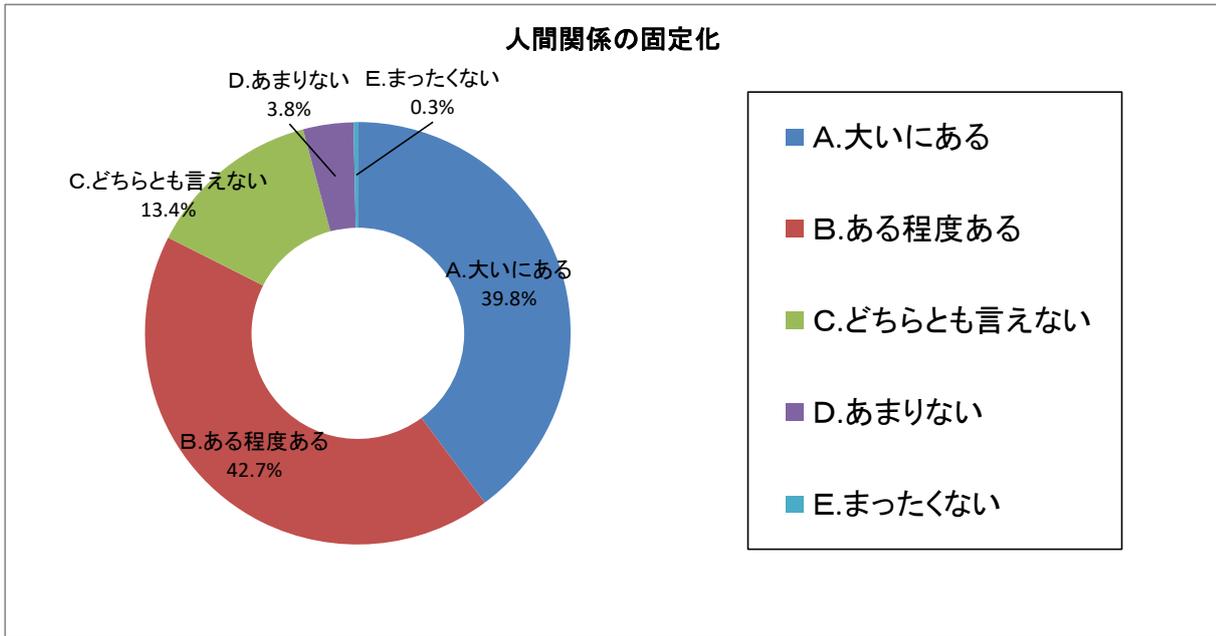
「どちらかといえば望ましくない」、「望ましくない」を合わせると、46.9%となり、「どちらかといえば望ましい」、「望ましい」を合わせた29.8%を上回る結果となりました。

学校別集計でも、ほぼ同様の傾向となりました。

問9. 小規模化の影響について、それぞれの項目でどの程度影響があると思いますか。

人間関係の固定化

	人数	割合
A. 大いにある	125	39.8%
B. ある程度ある	134	42.7%
C. どちらとも言えない	42	13.4%
D. あまりない	12	3.8%
E. まったくない	1	0.3%
合計	314	100.0%

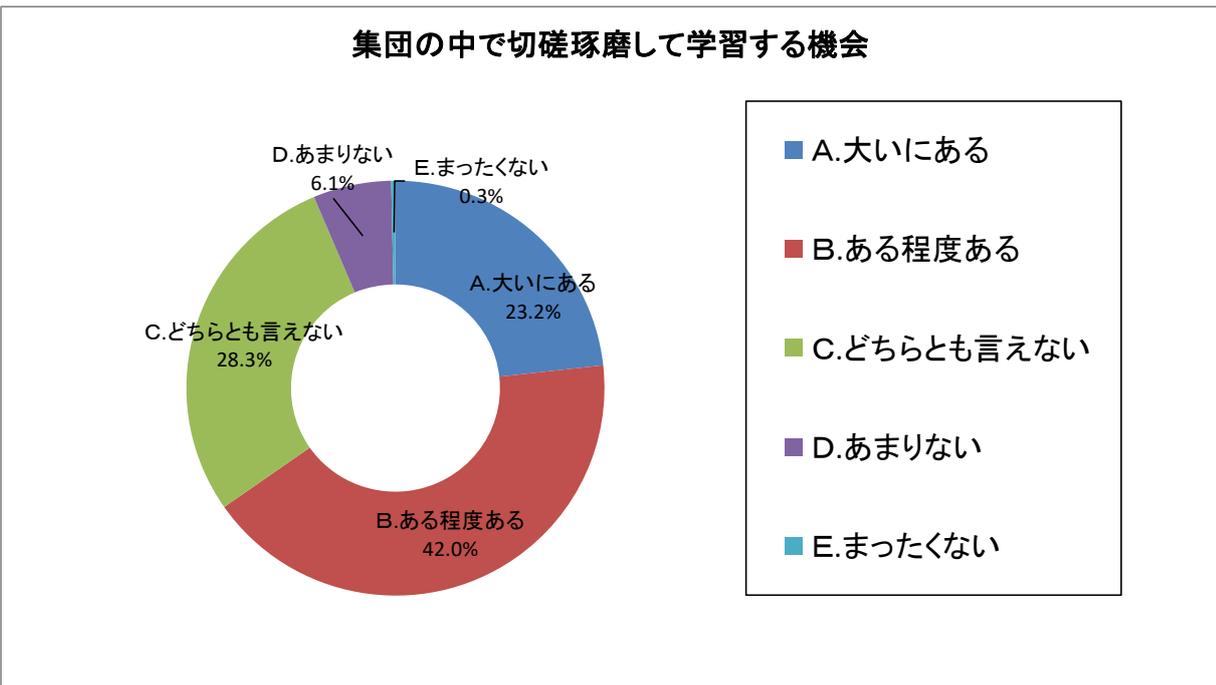


【人間関係の固定化】

「大いにある」、「ある程度ある」を合わせると、8割を超えました。

集団の中で切磋琢磨して学習する機会

	人数	割合
A. 大いにある	73	23.2%
B. ある程度ある	132	42.0%
C. どちらとも言えない	89	28.3%
D. あまりない	19	6.1%
E. まったくない	1	0.3%
合計	314	100.0%



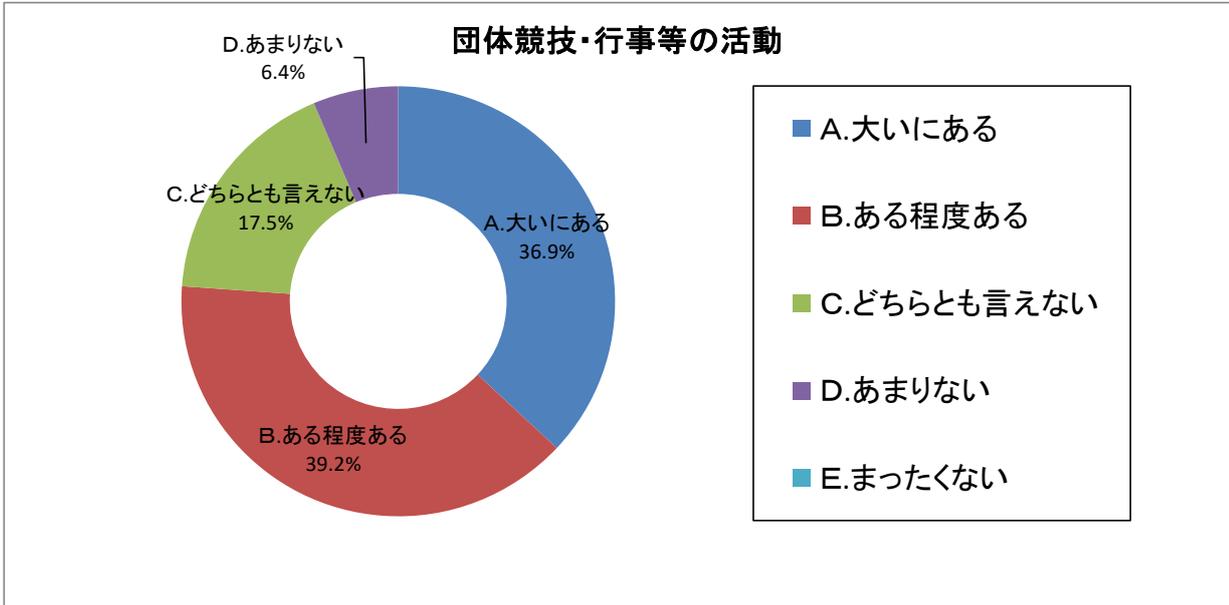
【集団の中で切磋琢磨して学習する機会】

「大いにある」、「ある程度ある」を合わせると、6割を超えました。

第一小学校、中学校、保育園・認定子ども園は、全体の集計結果と同様の傾向でしたが、第二小学校では割合が低く、5割程度となりました。

団体競技・行事等の活動

	人数	割合
A. 大いにある	116	36.9%
B. ある程度ある	123	39.2%
C. どちらとも言えない	55	17.5%
D. あまりない	20	6.4%
E. まったくない	0	0.0%
合計	314	100.0%



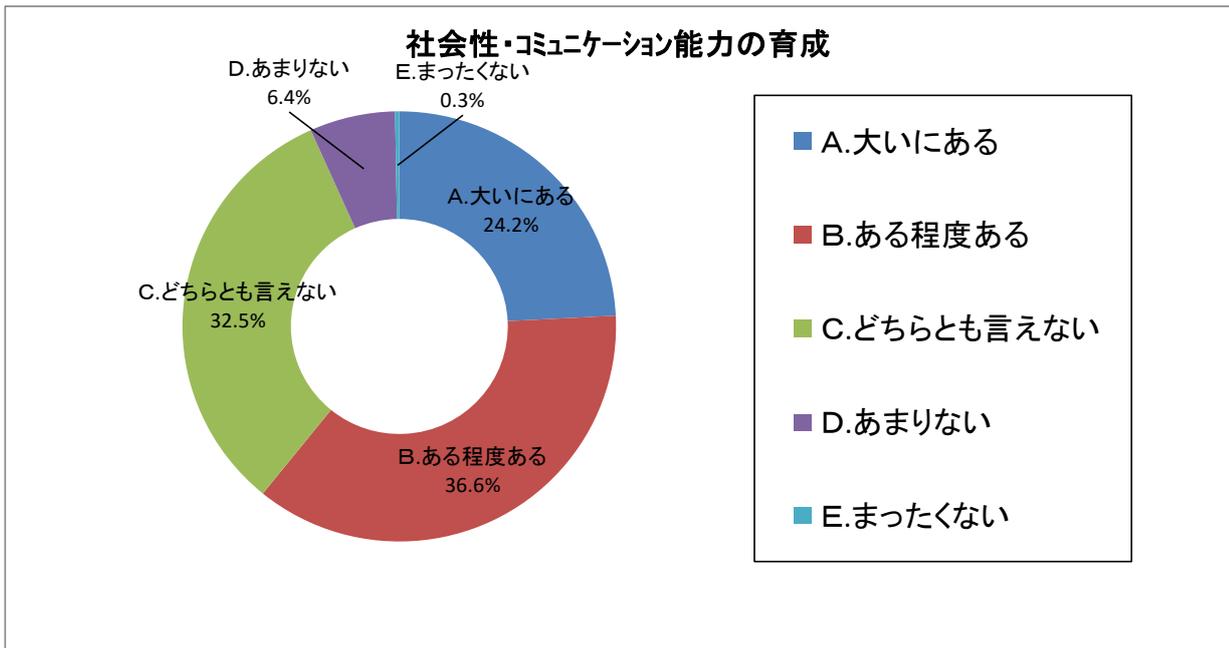
【団体競技・行事等の活動】

「大いにある」、「ある程度ある」を合わせると、7割を超えました。

第一小学校、中学校、保育園・認定子ども園は、全体の集計結果と同様の傾向でしたが、第二小学校では割合が高く、8割を超えました。

社会性・コミュニケーション能力の育成

	人数	割合
A. 大いにある	76	24.2%
B. ある程度ある	115	36.6%
C. どちらとも言えない	102	32.5%
D. あまりない	20	6.4%
E. まったくない	1	0.3%
合計	314	100.0%



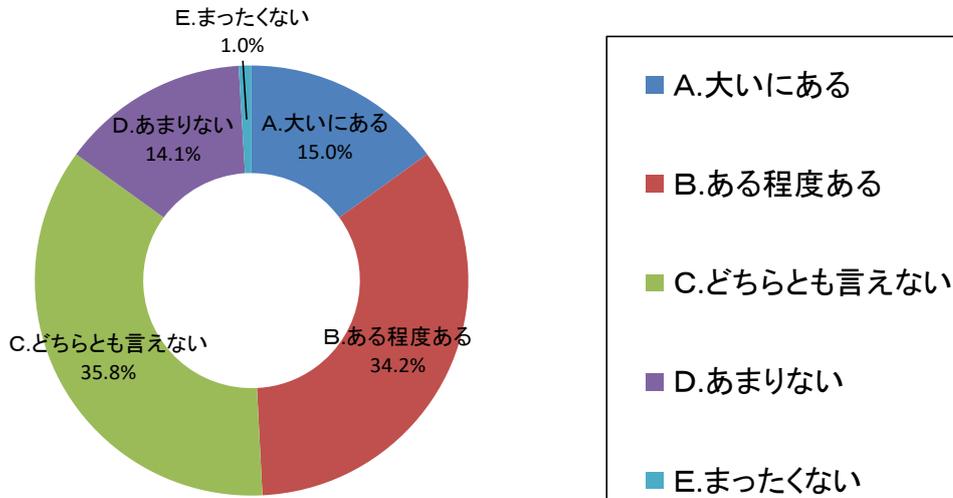
【社会性・コミュニケーション能力の育成】

「大いにある」、「ある程度ある」を合わせると、6割を超えました。

意見発表などの機会

	人数	割合
A. 大いにある	47	15.0%
B. ある程度ある	107	34.1%
C. どちらとも言えない	112	35.7%
D. あまりない	44	14.0%
E. まったくない	3	1.0%
合計	313	99.7%

意見発表などの機会



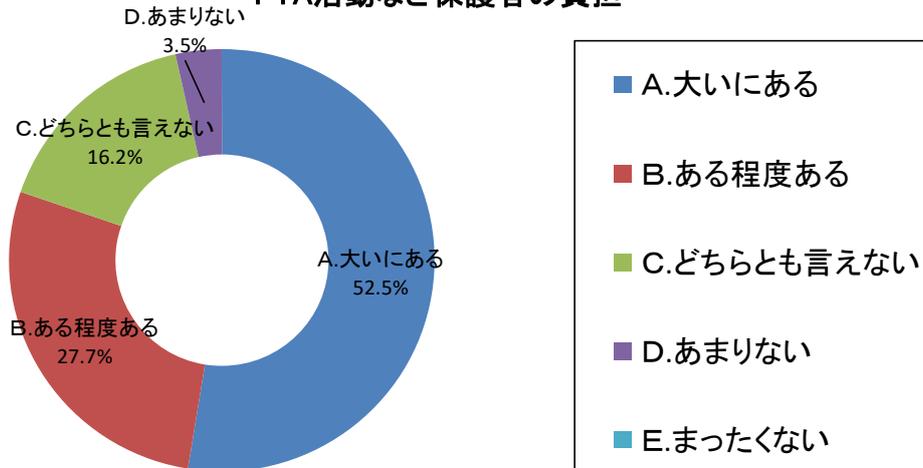
【意見発表などの機会】

「大いにある」、「ある程度ある」を合わせて、半数程度でした。

PTA活動など保護者の負担

	人数	割合
A. 大いにある	165	52.5%
B. ある程度ある	87	27.7%
C. どちらとも言えない	51	16.2%
D. あまりない	11	3.5%
E. まったくない	0	0.0%
合計	314	100.0%

PTA活動など保護者の負担



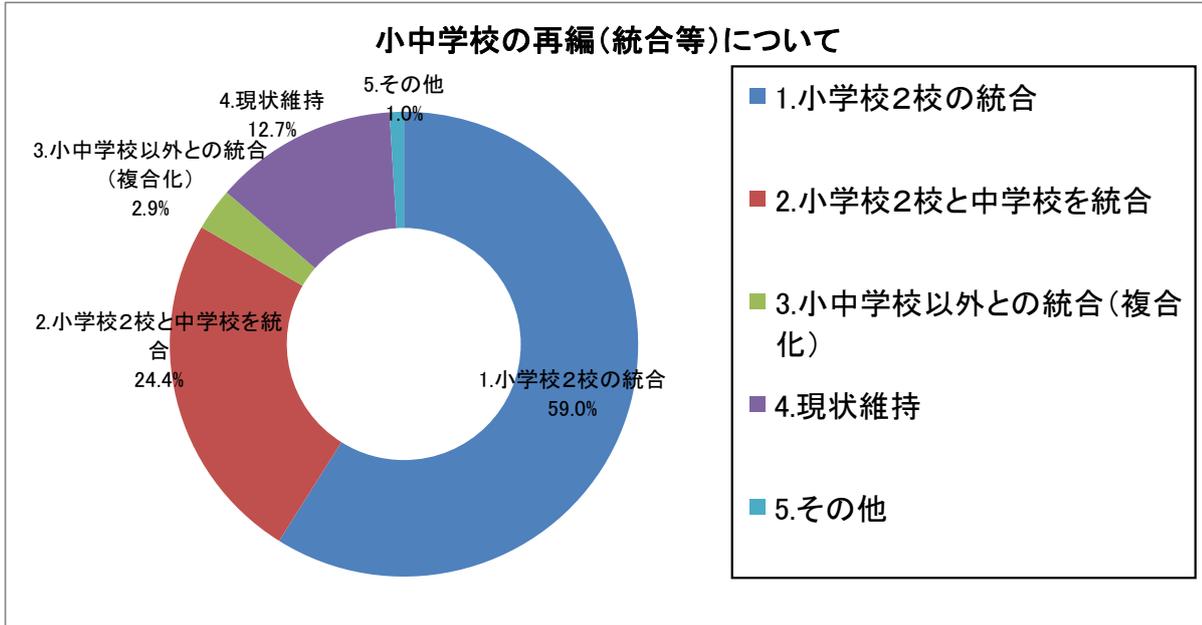
【PTA活動などの保護者の負担】

「大いにある」、「ある程度ある」を合わせて、8割を超えました。

第一小学校、中学校、保育園・認定子ども園は、全体の集計結果と同様の傾向でしたが、第二小学校では割合が高く、9割を超えていました。

問10. 小中学校の再編（統合等）について

	人数	割合
1. 小学校2校の統合	181	59.0%
2. 小学校2校と中学校を統合	75	24.4%
3. 小中学校以外との統合（複合化）	9	2.9%
4. 現状維持	39	12.7%
5. その他	3	1.0%
合計	307	100.0%



【将来の長瀬町立小中学校の再編（統合）に対する考えについて】

「小学校2校の統合」が59.0%、「小学校2校と中学校を統合」が24.4%、「小中学校以外との統合（複合化）」が2.9%、現状維持が12.7%でした。

学校別の回答では、第一小学校では「小学校2校の統合」が63.6%、第二小学校では「小学校2校と中学校を統合」が40.9%、中学校では「小学校2校の統合」が60.6%、保育園・認定こども園では、「小学校2校の統合」が56.9%と、一番多くの回答がありました。

問11 自由意見(第一小学校保護者)

子供の数が減り地域によっては親の負担が大きいとを感じる。PTA活動も必要だと思うが、もう少し縮小しても良いと思う。現在、コロナ感染症対策のため、色々と活動が中止になっているが、本当に必要な活動なのかを見直しい機会ではないか。

1クラス30人以下が望ましい。理由は1クラスでは固定化してしまいあまりよくない。成績面でも共有しなくて自分で評価できる。その結果クラスの学習状況も異なることがある。なるべく早く合併してほしい。期待している。

児童生徒数の減少や学校施設の老朽化と改修等に要する費用を考えると、小中学校は統合してより良い学びの環境を整えることが、長瀬町の魅力アップにもなると思う。

中学校をリフォームし、小中学校を統合し、保健センターを屋根のあるプールに作り直し、何のためにあるのかわからない保健センターはいらない。

小学校の統合を希望している。小規模校は人間関係が固定化されやすいと思う。統合することによって児童が主体的に動けるようになってくると思う。

小学校の統合は避けて通れない。早いうちに決断すべきだと思う。近隣地域ではやっていない「小中一貫校」は長瀬町の良い部分として大きなPRにもなる。関わる方には多大な負担があると思うことは認識している。教育改革には子供を長瀬町で育てていきたいと若い親御さん達に思わせられる可能性を秘めている。新しいことをどんどんやってほしい。

同じ町内に住みながら二小では複式学級になってしまう。一小ではあと2～3人増えれば2クラスに分けられるのに・・・という悪循環となっている。一小では、ある学級では34人で見ると『密』な教室で学習している。一小と二小が統合すれば密になる状況も多少緩和できると思うし、先生の目も今よりもっと行き届くと思う。クラス替えて友達関係も広がり、救われる子供もいると思う。どうか歴史などにこだわらず、今の子供達のことを真剣に考え、ぜひ、小学校統合を一刻も早く実現させてほしい。

今年度はコロナのため、行事ができなかったが、今後、学校全体でさらに交流ができるような機会が増えるとよい。長瀬中、一小、二小全体で出来ることもあれば、子供も楽しいと思う。

子供にとっての教育環境の充実を最優先してほしい。今後の進め方を明らかにしてほしい。先進事例、同様な環境の地域などの情報を提供してほしい。外部(町民以外)の意見を取り入れてほしい。この機会を活用して教育環境を整備して、魅力ある町づくりの柱の一環として進めてほしい。未来ある長瀬町を楽しみにしている。

仕事をしている方が多いので、役員など保護者の負担が増えるのは大変。地域によっては毎年、支部の役員が回ってくる場所もあるのではないかな。かるた大会、ドッジボール大会などのイベントも、やりたい子とその保護者でやる形でよいのではないかな。時代に合わせたやり方を考えて行った方がよいと思う。

第一小学校も35人学級にし、2クラスにし、子ども1人1人に目を配れるようにしてほしいです。

皆野町も含めた広域化 週1回程度のオンライン登校

統合は場所的な問題、小中一貫校はカリキュラムのこと、別にわかりやすくしてほしい。

娘二人共、将来は長瀬に住みたいと言ってくれている。学校などで一度外に出た後に、働ける場と住むところがあれば、若い人でも戻ってきてくれると思う。この町はとっても子育てしやすい町だと思う。

クラスが1クラスだけだと、いじめなどがあつた場合、逃げ場がない。特に低学年34～35人を先生一人では目が行き届かないと感じる。問題があつたときに解決できない。

小学校では、一小と二小では、児童数に差があり、先生の負担も大きく違うと思う。二小の児童さんの方が学力が高い子が多いと聞いたこともある。やはりきめ細かな指導が行われているのかなと思う。一小に通わせている親ならば、同じ町内で国道沿いに小学校なのに、とても不公平感を感じる。

学校用品店だが、1店舗しかなく、とても不便。品揃えが悪く購入したい数をそろえることが出来なかった。もう1店舗増やして頂くか、学校で購入出来るようにしてほしい。

自分が子供の時よりも人口がものすごく減っていると何年も感じていた。特にここ数年で急激に子供が減っていると思う。学校が1つになることに不安はあるが、他者とのコミュニケーションだったり他学年との交流だったり、プラスな面の方が多いと思う。今のように3校でいるよりも統合し、小中一貫校になることを希望する。

アンケートの意図が腑に落ちない。学校教育を提供する環境として学校施設の老朽化と小規模校のあり方はそれぞれの課題として捉えてみては？公共施設の老朽化は学校施設に限られず、少子高齢化に伴う包括的な問題ではないか。近い将来、卒業生が納税者になるわけだから。

小学校を統合して一小を利用するのが良いのではと思っていた。でもここ最近の台風被害などを考えると、土砂災害、増水など危険な場所は避けて立て直すのも良いのではと思うようになった。

今後、子供が減少することは、間違いないと思うので、後を考えて期間を要しても一貫校にした方が良く思う。その時々の様子で変えていても慣れた頃に変えたり、出費をかけるのに、また出費や期間の一からのスタートには問題が多いと思う。

少子化は避けられないので、少ないからこそ出来ることを模索してほしい。例えば長瀬町に移住者を増やすにしても、長瀬ならではの学校教育などがあれば若者が増えるのではないか。愛知県の飛鳥村立の飛鳥学園は、小中一貫校で魅力ある学校づくりをしている。田舎は都会に比べて選択肢が少ないので、魅力ある学校づくり（ITだったり英語だったり）が大切ではないか。

児童数の減少でPTA等の保護者負担が多いと思うので、今後は負担を少なくすることも保護者の協力を得るためには大事だと感じる。また、統合を進めるのであれば、体操着など指定しているものを減らす、あるいは家計負担にならないよう、金額のかからないものを推奨すべきだと思う。コロナの影響もあり、選択の出来ないクリーニングしか方法のない制服は不衛生だと私服化を進める地域もある。現代社会において、指定にこだわる必要はないと思う。

隣の皆野町が子育て支援が手厚い印象があるので、それなら皆野に住みたいと思う子育て世帯は少なくないと思う。病院等も少なく買い物するにもお店がないので便利とは言いがたいので、子育てしやすい町ではないと思う。待望の公園も出来たが、少し残念な感じがする。もう少し小さい子が楽しめる物があると良かった。

町内巡回バスを運用して・・・異年齢交流（二小で幼稚園保育園時と低学年、一小で老人ホームなどと高学年などの組み合わせで交流することで、それぞれが役割をもって取り組むことでお互いを尊重しあい、郷土愛を育むことにつながるのでは。または、バスで各校を移動し交流するなど）

小中一貫だと上の強い子が下の子を馬鹿にしたりすることがあったので、一貫にしてほしくない。

問 1 1 自由意見（第二小学校保護者）

コミュニケーション能力はタブレット整備によりリモートで他校や世界と繋がるなど、少人数でもよい教育方法はあると思う。

学校の再編・統合の選択肢もいずれは必要。その際は町のシンボルになるような魅力ある学校づくりをしてほしい。

先生を近くに感じられる・回答をたくさんすることができる・少人数でよいと子供は言っている

二小は児童が少ない上に、保護者はほとんど仕事をしている人が多く役員の負担を減らしてほしい。仕事に影響がでる心配がある。

問 1 1 自由意見（中学校保護者）

中学の教育には不信感がある。子供の呼び方が第一小学校では友達同士、先生からも〇〇さんであったのに、中学では〇〇ちゃんや呼び捨て、あだ名（先生が率先して使用している）となっている。すべての先生が言っているとは思わないが、先生が言うのは教育者としていかなものか。

第一小でクラス替えがなく、中学で初めて2クラスになったが、それでも生徒数が少なく、文化祭・合唱祭での生徒の負担が多いと思う。クラス毎では無く学年毎の発表でもよいと思う。PTA役員の改善をしてほしい。運動会の準備など参加できる役員以外の保護者にも手伝いして頂きたい。

今後、少子化が進み子供が減っていくのがわかっているのに、小学校2校維持していくメリットはないと思う。統合して通学が困難な生徒は電車通学かスクールバスを出せばよいと思う。同じ町内で二小だけが複式学級になるのは異様な気がする。

これだけどんどん少子化が進んでしまうと子育てしづらい町になってしまう。

児童減少のため、統合するのは必要なことではあるが、学校教育の面では教師不足になり一人一人を見てもらえるのか心配。二小が2学年1クラスになるようですが、良い部分悪い部分をきちんと理解でき、子供達がのびのび楽しく生活できればよいと思う。

人と人との関わりを大切にしてほしい。自律した人になれるよう地域全体で子を育ててほしい。

小学校の統合は前に聞いたことがある。一小の方が広いし統合にはいいと思うが、二小の前には駅があり、安全に登校出来ると思う。寄居の小学校では今でも小学生が電車に乗って登校している。設備が必要なのはわかるが、あまりお金をかけずに今ある物を使っていくという考えもあると思う。

問10に関しては難しいと思う。少しでも先生方、子供達、地域住民が納得して安心して学校運営ができるような環境を整えていく十分な準備期間が必要かと思うが、柔軟な対応、対策が不可欠。教育面が充実していれば、移住など、子育て世代も増える可能性があると思う。

二小が無くなるのを反対しているのが、地域のお年寄りが多いと聞きますが、色々な思いはあるとは思いますが、子供達のことを第一に考えて判断するのがよいと思う。

子供が少ない世の中で増やそうと考えるのも大変だが、まずは今現在から5～10年で困っていることを考えて出来る準備を進めなければいけないと思う。施設の統合に5年程度とあるが、それなら尚更迅速に。今年度は難しいが、来年度から動き出してほしい。自分の子供は卒業してしまうが、子供が在学しているかいかではなく、将来を担う子供達のために動いてほしいと切に願う。

児童数の推移と推計を見ると、小中一貫校の設立が将来は望ましいのかと思うが、設立までの年数及び経費負担などを考えると頭を抱えてしまう。年々減り続ける子供の数を考え、小学校の統合でも良いと思う。1つに統合し、学校にかかる経費を一つにまとめ、今までかかっていたもう一つの学校への経費を積み立てる。これからまだまだ長い年月だが考えて行かないと。校舎を建て直すとなると小中一貫校でもいけるのかな。

早期に統合すべきと思う。少人数のために町の税金がかかりすぎるため。

現役場を建築する際に統合について考えていけば複合化等により財政面において良かったと思う。公民館も含め一小・二小・中学校を全て統一化（図書館も）して敏腕の教師により進学校にして逆に学校目当てに住みたい町にするという発想も良いかも。まず実績を作らねば。

小学校2校の統合も良いと思うが、各地域、生活面において大きな変化はすぐには難しいので、中学校へ行っから一小・二小の生徒が初めまして、という感じにならないよう、日頃から交流を図ることが大切だと思う。中学校へ入り、第二小学校のお子さんだが、親が見てきた姿とは違い、沢山の友達の中でとても明るく学校生活を楽しく送っているようになったと話を聞いた。小さい頃からできるだけ多くの人と関わることは成長するために重要なことだと感じる。4人の子供の成長を見て感じている。

残された校舎を改修し、生涯学習、コミュニティ、災害避難場所、技能訓練、職業訓練、スポーツクラブ、共同オフィス、ベンチャー企業誘致等、多目的に町民、近隣住民の活動の場の提供を視野に考えてみてはどうか。

今後、児童が少なくなっていく中で、PTA活動、保護者への負担が増えると思う。幼小中とPTAの運営について今後は変化（スマート化）していく方が良いのではないか。本来、必要最小限の役員改選するなど、スマート化してはどうか。今後のPTA運営について見直しが必要ではないか。町の球技大会、かるた大会なども運営するにあたり保護者が役員をするの人も減ってきている中で、限界がきているのではない。

なるべく予算をかけずに計画してほしい。役場を学校施設にして使用するなど、今ある施設を有効活用してほしい。

少人数過ぎるクラスよりもある程度人数がいた方が良いと思う。一小と二小を一緒にして良いと思う。先生の人員費も2校分いなくて良い面もあるのではないかと考える（校長・教頭ほか）。プールなども1つの学校で十分だと思う。様々な面を考えて統合が望ましいと思う。対応が遅いという話を地域でも聞きます。

秩父地域の他の地域と比べても長瀬町の少子化はスピードが速いと思う。これからは、どうしても再編の必要があると思うが、他の地域と同じ小学校同士の統合、中学校同士の統合ではなく、時間や経費がかかると思うが、小中一貫校とすることで質の高い9年間、統一の取れた学校生活が送れるように整備する方が良い。また他ではまだ少ない小中一貫教育を先取りで行うことで、長瀬で子育てをしてみたいと思う若い夫婦の方が定住してもらえたら、高齢化もスピードが遅くなるのではと期待する。観光の町長瀬だけではなく、住んで子育てをしてみたい長瀬に変化するのも悪くないと思う。小規模の状態だからこそ、思い切った方法で変化させていかないと長瀬町の将来は暗いものになるかもしれない。

難しい問題だが早く手を打ってほしい。

予算を工面して例えば中学校を解体して新校舎を小中一貫で使用できるように建築して、ある程度小中の区別は必要だが、今後、長寿命化工事が必要ないようにはできないのか。行事は一小の校庭を使うなどして活動の場を広く持ち、部活にも対応できる仕組みにして、長い目で利用できる環境も必要なのではないか。近隣にも皆野・尾田・原谷小・秩父一中など新しい校舎が増えているし、総合的に考えて目先の対応に終わらない対策をお願いしたい。

小規模化は仕方ないこと、デメリットをあげたら切りが無い。PTAと先生の負担を減らすのは考えた上で、メリットを最大限にのばしていくのはどうか。例えば、教員の目が届きやすく、きめ細かな指導はしやすいというのはあてはまる。小中一貫にすればなおさら。ならばそれを活かして学力日本一を目指す。小さな町の小さな小中一貫校の成功例。この町に住み子供を通わせることで確かな基礎学力がつく、となれば移住してくる若い人も増えるのではないかと。子供が減少する中で、小中一貫教育は良い考えだと思う。

自分の故郷長瀬町、秩父地域の特性を有利に捉え、それを活かせる教育環境づくり、つまり子供自身が「長瀬で過ごせた、長瀬の友達と一緒に勉強ができてよかった、素敵な先生方に出会えて良かった・・・」など、大人になったとき、そんな風に感じられたら良いと思う。

問 1 1 自由意見（保育園・認定こども園の保護者）

小規模化は致し方ないと思うが、小学校と中学校の統合は反対したいと思う。小学校 6 年生から中学校 1 年生は、人生でものすごく大きな変化だった気がする。社会勉強の本当の始まりだった気がする。小学校と中学校を一緒にしてしまうと流れて学年があがる。小学校 7 年生になるようなので、けじめをつけられるようにしたい。

小学校 2 校を統合するなら、バス通学ができるようにしてほしい。長瀬町は広いから。

小中一貫校となると、いじめ問題が目が届かないばかりか、自殺も考えたりするようにならないか心配だが、人数が増えても減ってもこの課題は変わらないだろうが、先生の負担が大きい。先生の教育が必要な気がします。

子供が少ないので、PTAの役員はすぐ回ってくる。本当に必要なのか。必要あれば最小限ににしてほしい。負担をなくすべき。コロナで新生活様式が出来てきているのだから、落ち着いたとしてもそうすべき。複式は少し抵抗があるので、できる限り統合を求む。

小中一貫の新校舎の新設。周辺市町村と比較し、校舎の劣化が著しいため。

遠いお家の子には、バスを出したり子供たちが安心安全で学びや遊びを沢山もてる様な学校づくりをお願いしたい。2つの学校を併せたところで、そこまで大人数となる程でもないのに、1人1人をきちんとみていただくことも可能だと思いますし、施設の点検、補修なども1つの方が行き届くことが多いと思います。限りある資源、資金も有効に使って子供たち、年上の方たちによりよい町をつくってほしい。

長瀬町全体としても今後人口減少していくことは、食い止めていきたい課題であると思うが、児童減少の問題を抱えている自治体も多くあると思う。児童数が増えたほうが良いとは思いますが、少人数をあまり、マイナスにとらえず、少人数、小規模だからできること、メリットを子ども達に伝えていくことで、学校の特色にもなり得ると思う。子ども達も置かれている現状をあまり悲観的に考えず、少数だからこそ、一人一人にしっかり目が行き届くということは親からするととてもありがたいことだと思う。地域と関わる事で社会性、コミュニケーション能力は身につくと思うので、のびのびと恵まれた環境で育ててくれたら、将来いろんな環境、立場になってもしっかり順応する力は身につくのではと思う。

小中一貫の案も出ている中で、幼稚園や保育園とも連携をもっとできるとその子どもの特性などしっかり理解して成長を見守っていくことができると思う。

長い期間を要するのに！小規模化・合併問題を先送りにしすぎたと思う。少子化問題について教育面でもっとしっかり計画を立てて、さらに若年層ファミリー層にアピールできるものを打ち立てないと移住者も集まらず少子化の一途をたどることになる。小中一貫教育は先10年の事を考えると必須！移住者（若者ファミリー）を呼びこめるような教育改革（カリキュラムに例えば“オルタナティブ”な部分に力を入れる。農業、自然環境、芸術、科学的な外部講師を入れたり言語学に力を入れたり、フィールドワーク、ワークショップなどもたくさん行うなどが必要になると共に子育てしやすい街づくり、学校外教育施設の充実も同時にしないともうどうにもならないところまできている。

私自身、人数の多い小中学校で育った。人数が多くてメリット、デメリットはあるが、楽しく過ごせた。どんな人数でも子ども達が楽しいと思える学校生活を送れることを願っている。

住民を増やす努力が先かと思う。高砂団地の様に、学校が近い団地があれば良かった。「この町に住んで良かった」と思える様な町にする。もっと若い人の話を聞く！「昔からこうだから」でよくなるわけがない。

他の地域ではスクールバスがあるところもある。人数が少ないからこそ必要（安全配慮）だと思う。登下校の危険リスクを踏まえて検討してほしい。

- ・イジメが起こった場合、黙殺せず、内容によっては然るべき期間を利用し、犯罪の場合は警察、うつ病や薬物依存症の場合は医療など、街を挙げて被害者ではなく加害者側の親含む子らの矯正のための環境が整っているかどうかが気になる。
- ・校則で髪色等の指示（地毛が栗色だったりした時に黒に染める等）や、性別により制服の形や色分けをすることで、子供の人権が損なわれてはいけな。性同一性障害や発達障害などでも障害の多様性を先生も生徒も共に学び、理解できる場が学校であってほしい。
- ・競うことも高みを目指すためには大切であるが、その競い合いによって運動や勉強が嫌いになってしまっは、生涯において必要な心と体の健康の維持への意識は薄れてしまいかねない。競うことに重きを置くのではなく、生涯を通じて勉強し、毎日適度に身体を動かせるような、環境と思想の構成を優先してほしい。休み時間に友達と遊ばない一本を読む子、花や虫に触れる子等の興味は潰されるべきものではない。人の心を育む場であってほしい。

最終的に小中一貫にすべき。ただ段階的に統合を行い無理なく進めるべき。

段階①第一小、第二小の統合（5年程度）

・通学バス一台必要とするだけ。統合のための改修費は基本的に必要無いと思う。

- ・一校閉校とするだけで高額な費用が浮く。
- ・跡地利用も段階的に検討できる（個人的には道の駅等の商用利用）

段階②小中学校統合（10～15年で実施）

- ・耐用年数から建て替え
- ・裏の敷地も含め、中学校敷地に建て替え

小中学校の体操服の取扱いを、町内店舗以外（例えば矢尾など）でも扱ってほしい。

理由として、町内店舗での対応があまりよくないので、小中学校9年間もの間嫌な思いをして買いに行きたくないため。

- ・早急に合併すべき。1学級10人以下はかわいそう。1クラス何人いるの？と聞かれることが多く、精神的苦痛がある。ばかにされる。性別の偏りで、女の子一人の学年がある。親御さんも心配。低学年は二小・高学年は一小など、今の施設を利用して小学生が一緒に遊べるとよい。
- ・今頃になって統合を検討するのは遅すぎる。スピード感を持って子供のために進めてほしい。
- ・スクールバスは安全なので、シルバー人材などでドライバーをまかなえばよい。
- ・中学校にサッカー部がないので、やりたい場合はユースに通わなくてはいけない。部活に入らないと内申点に響くときいた。
- ・長瀬にはそれなりに知名度がある。観光への予算を削ってでも教育問題に予算を使ってほしい。
- ・少人数の学校の教師と大規模学校の教師とは力量に差は無いのか？